

平成 29 年度

働く人の健康づくりセミナー

益田労働基準監督署

平成 29 年 11 月 16 日、益田合同庁舎において、島根県益田保健所、島根産業保健総合支援センター、島根産業保健総合支援センター益田地域窓口、益田圏域健康長寿しまね推進会議との共催で、『平成 29 年度 働く人の健康づくりセミナー』を開催しました。

島根県益田保健所の分析によると、島根県における脳血管疾患、いわゆる脳卒中の死者数は、2011 年から 2015 年の平均で、第 3 位となっています（第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患です）。特に益田圏域（益田市、鹿足郡）では、40～64 歳男性の死亡率が島根県平均を上回る数値で推移しています。また脳血管疾患は、介護を要する原因となった疾患の上位に入っており、介護度が高くなるにつれて上位を占めている状況にあります。保健所は、健康寿命の延伸、医療費適正化のために脳卒中对策の重要性をあげ、特に働き盛り世代男性の生活習慣の改善を呼びかけています。

益田圏域
働く人の健康づくり
セミナー
脳卒中って実際の病気と聞いてませんか？

平成 29 年度

2017 年
11 月 16 日 木 13:30-16:00

場所：益田合同庁舎1階「大ホール」(益田市日笠町1-1)
対象：公務員、職員の健康士、健康づくり担当者、働く人の健康づくりに関心のある人

1 講演
『労働者の健康管理及び疾病予防～脳卒中を中心に～』
講師：平野盛久、平野盛久、院長(島根県産業保健総合支援センター)

2 事業採取紹介
『健康診断の取組について』
～健康診断の重要性～
発表者：石田交通株式会社 石田 健一、島根県保健所

3 各種情報提供

協賛：島根県保健所、島根県産業保健総合支援センター、島根県労働基準監督署、島根県労働安全衛生センター、島根県労働安全衛生センター益田地域窓口、島根県労働安全衛生センター

主催：島根県労働基準監督署、島根県産業保健総合支援センター、島根県労働安全衛生センター、島根県労働安全衛生センター益田地域窓口、島根県労働安全衛生センター

問い合わせ先 島根県労働基準監督署 TEL: 0956-31-9547

このような状況を踏まえ、益田市医師会産業医部会担当理事である平野盛久平野医院院長に、「労働者の健康管理及び疾病予防～脳卒中を中心に～」と題して講演いただきました。平野院長によれば、益田市医師会所属の産業医が把握しているところでは、健康診断の結果、高血圧、脂質異常、血糖異常、肝機能障害の有所見が散見されるということです。糖尿病や肝機能障害に罹患している割合は高いが、治療されていない現状があるとのこと。高血圧や脂質異常は症状がなく、わからないので測定が重要であるとのことでした。しかし、職場での健康診断について、未実施や一部未実施、結果の未通知、事後措置の未実施の状況があるとのこと。特に、40代、50代での発症が多いことについて、自分の健康に自信を持ち健康診断を受けない、要治療などの健康診断結果に対処しない、治療を中断する人が発症し、後悔する声を聞いているとのことでした。

また、脳卒中や脳梗塞を発症すると、麻痺などの後遺症により元の生活には戻

れないので予防が大切であること、予防のための生活習慣はがん予防と重なることから、生活習慣の見直しに取り組んでもらいたいとお話がありました。



次に、事業場における「健康経営」の取組について、石見交通株式会社の小川賢二取締役総務部長から紹介がありました。同社では、「健康経営、BCP（Business Continuity Plan 事業継続計画）、そうじの力」を重点課題として取り組んでいるということです。この取り組みは、本人よし、会社よし、社会よしの「三方よし」を目指すものだそうです。

同社では、低利融資が可能になる協会けんぽの「ヘルスマネジメント認定」を受け、協会けんぽ作成のチェックシートに沿って制度改善に取り組むこととし、重点課題の展開を図っています。課題の一つである喫煙対策は、「卒煙」対策として、数値目標の設定、外部講師による講義、各人の症状とステップに応じた治療などに取り組んでいます。また、メタボ対策では、協会けんぽによる各社比較での自社の位置づけから対策事項を設定し、個別面談、健康項目についての講義、データベースに基づく個人指導などに取り組んでいます。

会場には血圧測定器が用意され、正常値と危険値が掲示されており、出席者は講演の内容を参考に、それぞれの血圧を測定しました。

